



所属施設: 受験番号:

氏 名:

運営	計算	知識	合計
／ 19	／ 17	／ 64	／ 100

《運営問題》 理想所要時間 25 分

1. 現場でスタッフをまとめる役割を担う者として、事例を読み、スタッフの声から業務内容を改善する方法を考えなさい。

＜事例＞

ある日、あなたは入浴介助を担当する中川さんから次のようなことを聞きました。

「小田さんと一緒に入浴介助をすると、小田さんの段取りが悪くていつも遅くなります」

また別の日、中川さんが今度は次のようなことを言いに来ました。

「新田さんは仕事が粗くて困ります。あれではいつか事故がおきると思います」

このような話を聞いて、あなたは上司に「中川さんは不満が多すぎます」と報告しました。すると上司からは次のような言葉が返ってきました。

「中川さんの声には不満が含まれているかもしれないけど、現状をとらえているものでもある。現場にある問題を解決していく良い材料になると思うよ」

さらに上司は今回のことを受け、業務の進め方を改善する方法を考えてほしいと言います。

中川さんの発言から読みとれる現場にある問題を考え、解決するための方法をそれぞれ 1 つ答えなさい。（配点 2×2）

＜現場にある問題＞

* 採点のポイント

人間関係やコミュニケーション不足に着目するのではなく、2 人の意見から入浴現場で起こっている状況を想定する

例：・個々の介護技術にばらつきがあり、ケアが統一されていない

・入浴時の業務分担が適切に行われておらず、個々がそれぞれの考えで動いている

・経験値の違いからご利用者のペースではなく自分たちのペースでケアを行っている等

ケアの方法や入浴介護手順、介護量が整備されていないことがイメージできているかで判断

＜解決方法＞

＜現場にある問題点＞で解答した内容について現場のリーダー的な立場から具体的な解決方法を提案できているか？で各企業様でご判断ください。

研修や勉強会、マニュアル作成などによるケアの統一や指導方法の提案でも○とする。

また業務改善（入浴数、入浴時間の適正化、スタッフの役割と配置の見直しと統一、）にフォーカスした内容でも可とする。

【実際にあった解答例】

介護技術の統一を図るために、入浴に携わっているスタッフよりヒアリングを行い、より多くの意見を反映させたマニュアルを作成

会議の毎に研修を実施し、実際のご利用者を想定した事例検討のような実践指導を行う。

入浴の業務テーブルをより多くのスタッフの意見を聞きながら、入浴数や配置人数、役割分担を再検討するなど

2. 近い将来、南海トラフ巨大地震が発生すると言われています。過去の震災では高齢者施設が被害にあった例もあります。入居者の被害を最小限におさえるため、普段から被災対策や避難方法を意識することは重要です。あなたが勤務する施設を想定し、次の設問に答えなさい。

(1) 地震発生時の避難を迅速に行い、二次被害を抑えるため、建物や設備について日常的に点検しておく必要があります。施設で定期点検を実施することを想定し、チェック項目を具体的に 2 つ答えなさい。（配点 2×2）

例：各フロアの出入り口付近が物でふさがれていないかを確認する。

① _____

② _____

①地震の際に迅速に避難が行えるよう、机の下に物を大量に置かない

②非常口や階段など定められた避難経路に物を置かない

③地震火災の際に消火活動が迅速に行えるよう、消火栓付近には荷物を置かない

④非常口の開放に問題がないかチェックする

⑤非常口、避難経路の表示板に異常がないかチェックする

⑥建物の内壁や外壁にひび割れなどがいないか確認

⑦窓ガラスなどにひびが入っていないか

⑧窓に面して大量の荷物や棚などが設置されていないか

⑨棚やロッカーなどの上に荷物を山積みしていないか

⑩背の高い棚などはしっかりと動かないように固定しているか



⑪消火器は定められた所定の位置に置かれているか

⑫消火器の使用期限は過ぎていないか

⑬避難に使用する車椅子やストレッチャーなどは所定場所に完備されているか

⑭施設内は防火カーテンが使用されているか

* 電子錠の確認○ 非常食の確認(期限・場所)○ EV閉じ込められた時の対応確認○

* 倒れそうな物がないか確認△

* 避難経路の確保・確認× 非常食・防災グッズの点検(具体的記入なし)×

緊急時の連絡先の確認× 施設以外の避難場所のチェック

避難経路のスタッフ周知× ステーション内に避難経路図を貼る×

3. 今年度、高齢者施設や病院ではインフルエンザの集団感染が相次いで発生し、死亡例も出ています。インフルエンザの集団感染を防ぐには予防対策と早期対応が重要です。入居者に発症者が発見された場合、施設管理者としてどう対応をすべきかを考え、4つ答えなさい。(配点 1×3)

① _____ ② _____

③ _____

○ウイルス持ち込みの原因予測の為の情報収集

○ショートステイの受け入れ制限を行う

○咳等の症状がある方と他の方を交流させない(食事の時間や場所を別にする・集団で交流する行事の中止)

* ○面会制限 ○ご家族への連絡(ただし拡大防止につながる協力依頼のみ) ○医師と相談し入居者全体への予防薬の指示

○発症者のサービス内容を確認し、他施設のサービス利用があれば情報を共有する

×換気、加湿の徹底

×スタッフの健康確認

×スタッフの手洗い、マスクの再徹底

×発症者の個室隔離

×発症者の重度化防止(早期治療)

×フロア間移動を制限する

×発症者といつも一緒に過ごしていた方の健康チェックを注意深く行う

×他の入居者の健康チェック(発熱、咳等)

×咳をしている入居者へマスクの着用

×面会等外部者の手洗い、マスクの徹底

×ショートステイの方の健康状態の確認

4. あなたは特定施設で勤務するスタッフです。新人スタッフから以下の申し送りを受けました。しかし、申し送りの内容には、誤りや不適切な箇所があります。なにが不適切なのか、具体的に記入しなさい。(配点 2×4)

①昨日転倒し、額にかすり傷ができた A 様ですが、36 度とお熱ありません。

・転倒し、頭部を打っている可能性があるのであれば、嘔吐や気分不良の有無、体の痛み腫脹を観察する * 点線部 1 つでもあれば○

* 血圧は△

②「息が苦しい。座って過ごしていると楽になる」とおっしゃいましたが、横になるようにうながしています。

・心不全の呼吸苦がうたがわれ、その場合は起座位のほうが楽である * バイタル確認△

③「かゆみがある」と発疹もみられたので、オイラックスをぬっています。

・処方がないのに、判断して軟膏を塗ってはいけない

* 自己判断してはいけない○ 看護師の判断がない△

④脈拍 40、血圧 120／60、熱 36. 3 で、入浴していただきました。

・脈拍が 40 と徐脈であるにもかかわらず、入浴している

* この脈拍数では危険△ シャワーや足浴でも×



《計算問題》 理想所要時間 25 分

1. あなたは 100 床の特養と 20 床のショートステイが併設する施設で勤務するスタッフです。

物品担当であるあなたは、上司から下記のような指示を受けました。

「最近シーツの在庫の減りが早い。敷きシーツの契約数の変更を検討するので、ショートステイ実績と施設全体の利用者の失禁頻度を考慮し、敷きシーツの適正な使用量を算出してほしい」

上記の指示にもとづき適正な敷きシーツの使用枚数を算出するにあたり、問題A、Bに答えなさい。

※この特養で入院などで部屋が空床になった場合、ショートステイの部屋として活用します。

表 1【施設状況】

特養の状況	
当月日数	28 日
特養床数	100 床
ショートステイ床数	20 床
特養稼働率	96%
ショートステイ稼働率 (※1)	110%
ショートステイの 1 日当たりの平均退所数	4 人
失禁率 (※2)	10%

※1／ショートステイの利用は 1 つのベッドを同日に入所者と退所者で 2 名利用とカウントする。

(下図の 4 日を参照)

そのため、稼働率は 100%を超える場合がある。

＜ショートステイ利用イメージ＞

1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日
←	Aさん利用	→	←	Bさん利用	

※2／失禁率は 1 ヶ月間の特養入居者とショートステイ利用者を合算し、総利用者数に対する失禁者数の割合を示すものとする。

【使用条件】

- ①特養の空床はショートステイの部屋に利用するものとする。
- ②特養・ショートステイともにシーツ交換は 1 週間に 1 回行うものとする。
- ③ショートステイの退所日は必ずシーツ交換を行うものとする。
- ④当月のショートステイでは、1 週間以上の滞在はないものとする。
- ⑤当月の特養退所者数は 0 とする。

問題A

上記の表 1【施設状況】と【使用条件】の内容を考慮し、次の(1)～(6)の空欄を埋めなさい。

(1) 今月、特養利用者の 1 日当たりの床数は(96)床である。(配点 1)

$$100 \times 0.96 = 96$$

(2) 特養利用者のシーツ交換に必要な敷きシーツ枚数は 1 ヶ月当たり(384)枚である。(配点 1)

$$96 \times 4 = 384$$

(3) ショートステイのシーツ交換に必要な敷きシーツ枚数は 1 ヶ月当たり(112)枚である。(配点 1)

※条件④の当月のショートステイでは、1 週間以上の滞在はないものとするという点をふまえて算出。

$$\text{退所交換: } 4 \times 28 = 112$$

(4) 1 ヶ月のショートステイの利用総床数は(739)床である。(配点 2)

※特養空床の利用を含む。

※小数点以下切り捨て。

$$4 \times 28 = 112 \quad 20 \times 28 = 560 \quad (560 + 112) \times 1.1 = 739.2$$

(5) 特養・ショートステイ利用者の失禁の際に交換する敷きシーツの 1 ヶ月当たりの必要枚数は合計(343)枚である。(配点 2)

※小数点以下切り上げ。

$$\text{特養: } 100 \times 28 \times 0.96 \times 0.1 = 268.8 \quad \text{ショートステイ: } 739 \times 0.1 = 73.9 \quad 269 + 74 = 343$$

(6) 同じ条件下で 1 ヶ月の敷きシーツの使用枚数を 10%削減したい場合、削減目標数は(83.9)枚となる。(配点 2)

この目標を達成するには、失禁による使用枚数を(259.1)枚に減らさなくてはならない。(配点 1)

特養入居とショートステイ利用の総床数は合計(3427)床なので、(配点 1)

施設全体の失禁率を(7.67)%にすることで、シーツの使用枚数を 10%削減できる。(配点 2) * 7.6%、7.7%○ 7%、8%△

$$1 \text{ ヶ月あたりの現状使用枚数合計} / 384 + 112 + 343 = 839、10\% \text{削減} / 839 \times 0.1 = 83.9、失禁による使用枚数目標 / 343 - 83.9 = 259.1$$

$$\text{特養総床数} / 96 \times 28 = 2688、\text{ショートステイ利用総床数} / 739、\text{合計総床数} / 2688 + 739 = 3427$$

$$(259.1 / 3427) \times 100 = 7.67\%$$



問題 B

失禁率を下げるための具体的な取り組みを 2 つ答えなさい。(配点 2×2)

①

②

- ・個別に排泄サイクルに合わせた排泄介助時間や回数の見直し
- ・正しいパットやオムツの装着方法の研修を実施し、全体で統一
- ・排泄トレーニングやベッド周辺の環境を整え、排泄補助具などを活用しおむつ外しを実施
- ・個々に合わせてパットなどの排泄物品の見直しと活用
- ・利用者が尿意を感じた時の NC に迅速に対応できるよう、施設に応じた NC チェック方法の統一
- * オムツ回数を増やす△ ラバーシートを大きくする× 介助を 2 時間毎に統一する× 吸収力の良いオムツへ変更×

《知識問題》 理想所要時間 40 分

1. ご家族から質問について、回答を考えなさい。(4)

■質問Ⅰ／「介護保険の申請をしたが、どのような流れで結果が決まるのですか？」(配点 2)

※次の 3 つの語句を使用して答えなさい。

●認定調査 ●主治医意見書 ●介護認定審査会

回答例: 申請後、市役所等から認定調査の調査員が認定調査を行います。認定調査の結果(一次判定)と主治医意見書をもとに、介護認定審査会(二次判定)が行われ、要介護状態区分が判定されます。

* 認定調査+主治医の意見書→認定審査会という流れになっていなければ×

* 認定審査会で要介護状態区分(要介護度)が決まるという言葉がなければ△ * 1 次、2 次の違いを間違えている△

* 認定調査員→担当ケアマネにしている場合は-0.5 点

■質問Ⅱ／「60 歳でも介護保険をつかうことはできますか？」(配点 2)

※次の 3 つの語句を使用して答えなさい。

●第二号被保険者 ●特定疾病 ●40 歳以上 65 歳未満

回答例: 40 歳以上 65 歳未満の第二号被保険者であっても、要介護状態または、要支援状態の原因が特定疾病であれば認定され、サービスを利用することができる。

* 要介護(要支援)状態の原因が という言葉がなければ-0.5 点

2. 次の質問に対し、適切な語句を記入し、下記文章を完成させなさい。(配点 1×2)

「保険料の徴収方法について教えてほしい」

第 1 号被保険者の保険料の徴収は、①(年金)から天引きする特別徴収が原則です。

特別徴収に該当しない場合、②(市町村)が直接徴収する普通徴収が行われます。指定の銀行や市役所で支払うことができます。

* 保険者 OK 市役所△

3. 住所地特例について以下の問いに答えなさい。(7)

Ⅰ. 住所地特例が設けられている理由を答えなさい。(配点 2)

介護保険制度では、住所地である市町村の被保険者となるのが原則(住所主義)であるが、それでは介護保険施設などの多い市町村ほど給付費負担が重くなり(1 点)、財政上の不均衡を招くため。(1 点) * 均一化のため -0.5 点

* 市の介護保険料が高くなりすぎるのを防ぐ OK

Ⅱ. 住所地特例対象施設を 3 つ答えなさい。(配点 1×3)

①

②

③

介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設)、特定施設(有料老人ホーム)、養護老人ホーム、サ高住

* 介護保険施設内で重複していても OK サービス付き高齢者(向け)住宅(向けが抜けていても O) * 軽費老人ホーム(ケアハウス) O

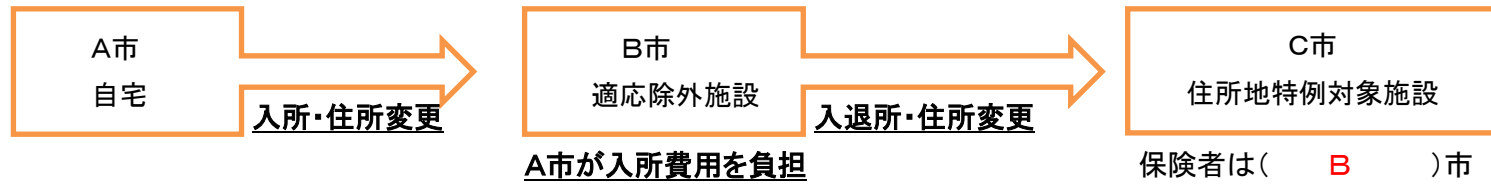


Ⅲ. 2018 年度の介護保険改正で、介護保険適応除外施設の住所地特例について、収入と支出の形があるべき姿になるように見直されました。

下図は改正前と改正後をあらわしたものです。

C 市の住所地特例対象施設に入所したときの保険者はどこか。改正前・改正後、それぞれ()内に記入しなさい。(配点 2)

【改正前】



【改正後】



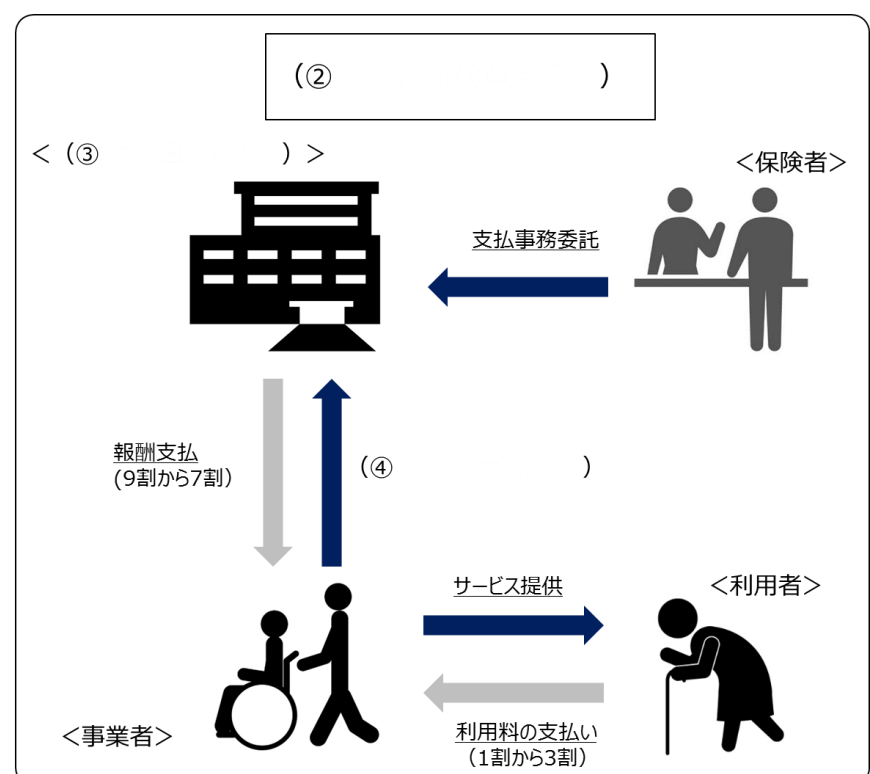
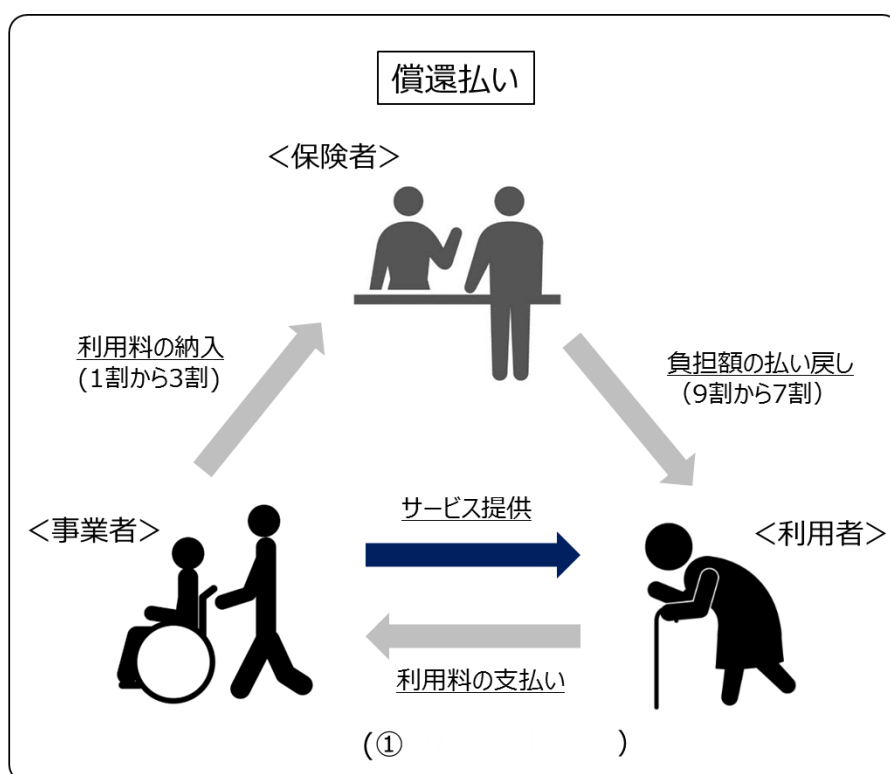
* 両方正解して 2 点、どちらかのみは 0 点

4. 要介護認定に関わる期間の設定について該当するものを語群から選びなさい。(配点 1×5)

市町村による認定	申請のあった日から(① 30 日)以内
新規申請の原則有効期間	② 6 ヶ月
区分変更申請の最小設定可能範囲	③ 3 ヶ月
更新申請の最大設定可能範囲	④ 36 ヶ月
住所移転時の認定申請	転入日から(⑤ 14 日)以内

3 日、 14 日、 30 日、 1 ヶ月、 3 ヶ月、 6 ヶ月、 12 ヶ月、 24 ヶ月、 36 ヶ月

5. 下の図は償還払いと現物給付についてあらわしたものです。語群から適切な語句を選択し、カタカナを書き込んで表を完成させなさい。(配点 1×4)



ア： 1～3 割 イ： 9～7 割 ウ： 10 割 エ： 市役所 オ： 国保連 カ： 法定代理受領
キ： 高額介護サービス費 ク： 負担限度額 ケ： 利用者負担額軽減制度 コ： 給付管理 サ： 支給限度基準額



6. 利用者の費用負担について、空白内に適切な語句を答えなさい。(配点 1×3)

介護サービスと関連サービス	利用者の費用負担(割合)
居宅介護支援、介護予防支援	なし (0 割)
居宅サービス、介護予防サービス、介護予防支援、地域密着型サービス	1 割から 3 割 * 1 割だけは△
食費、滞在費、家賃・管理費、教養娯楽費、特別室の利用など	全額 (10 割) * 自費、実費△

7. 市町村が行うことについて、次の記述のうち適切なものを 2 つ選びなさい。(配点 1×2)

- ①市町村は介護保険審査会を設置する。 **都道府県**
- ②市町村は支給限度基準額の上乗せおよび管理を行う。
- ③市町村は認定に際して、基本的人権の尊重から、サービスの種類の指定を行うことはできない。 **できる**
- ④市町村は都道府県に要介護認定を委託することができる。 **できない**
- ⑤市町村は被保険者が要介護者に該当しなくなったときは、有効期間満了前でも、認定を取り消すことができる。

②	⑤
---	---

8. 介護保険の財政について、次の記述のうち適切なものを 2 つ選びなさい。(配点 1×2)

- ①第 1 号被保険者の保険料の算定は、3 年ごとに国が行い、全国一律に設定されている。 **市町村ごと**
- ②介護給付は全て、利用者負担と介護保険として徴収されたものを財源とする。 **公費(国、都道府県、市町村) 50%、保険料 50%**
- ③健康保険の被保険者にかかる介護保険料には事業主負担がある。
- ④見込みを上回る介護給付費などの増大により財政不足が生じた場合は、翌年の保険料増額を行うことが認められている。
財政安定化基金からの貸し付けを受ける
- ⑤要介護認定を受けている第 1 号被保険者が保険料を滞納している場合には、保険給付の一時差し止めや保険給付との相殺の措置がとられる。

③	⑤
---	---

9. 高齢者虐待について、次の記述のうち適切なものを 2 つ選びなさい。(配点 1×2)

- ①高齢者虐待の通報者は介護支援専門員が 3 割と最も多く、虐待の内容は心理的虐待、介護放棄が 6 割を占める。
身体的虐待が 6 割
- ②虐待・無視を受けている場合、市町村の措置によるサービス提供が行われる。
- ③虐待発生時のサインとしては、「人目を避ける・家族がいると態度が変わる・汚れた衣類を着ている」などがあげられる。
- ④高齢者への虐待防止として、養護者の支援も施策に盛り込まれ、家庭裁判所が第一に責任を有する主体と位置づけられている。
家庭裁判所→市町村
- ⑤高齢者虐待が疑われる場合、自宅への立ち入り調査は、所在地を管轄する警察が行う。
立ち入り調査は地域包括センター等の職員が行い、警察署長に援助を求めることができる

②	③
---	---

10. ①から⑤の語句の意味について、正しい組み合わせを選択しなさい。1 つの語句につき、1 つのアルファベットを選び、線で結びなさい。(配点 1×5)

- ・A: 民間で、営利を目的とせずに社会活動を行うこと。
- ①ストレングス ・
- ②エンパワメント ・
- ③ノーマライゼーション ・
- ④フォーマルサービス ・
- ⑤レスパイトケア ・
- ・B: 各種公的サービスや保険給付、行政のサービスなど。 ④
- ・C: 在宅で高齢者などを介護している家族をいやすためにケアの代行を行い、家族にリフレッシュしてもらう支援サービス ⑤
- ・D: 人間が生活するために使っている機能やその背景を分類して明らかにするもの
- ・E: その人の持つ意欲、積極性、回復力、社会資源など ①
- ・F: 力の無い状態の者が、自信や信頼を回復し、自ら問題解決に向かっていく過程 ②
- ・G: 障害、病気の有無や児童から高齢者全ての人が地域の中で普通に生活を送れる社会を作っていくという考え ③



11. 次の説明が表すサービスや機関の名称を正確に記入しなさい。(配点 1×5)

①	居宅療養管理指導	意思、歯科医師、薬剤師などが、通院が困難な要介護者の居宅を訪問し、療養上の管理および指導を行う。
②	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	認知症の人がスタッフによる介護を受けながら共同生活する住宅。
③	地域包括支援センター * センター抜けは△	地域の高齢者の健康、福祉の増進を支援する中核的機関。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が配置される。
④	居宅介護支援 * サービスがついていても○	居宅の要介護者に対する介護支援サービス。
⑤	訪問看護	病状が安定にある要介護者の居宅を訪問し、療養上の世話や診療の補助を行う。

12. 面接やコミュニケーション技術について、次の記述のうち適切なものを2つえらびなさい。(配点 1×2)

①利用者を同じようなケースで分類し、効率的にニーズを導き出すことが求められる。

③

⑤

個性性を第1に考える

②利用者や家族が自分の感情や要求、不満を口に出すことがないように、意見の調整や受容を行う。不満等も含め自由に表現できる機会を与える

③利用者や家族の意思を尊重し、誤りのない自己決定ができるよう、環境や条件を整え、その決定を支援する。

④初回面接では、チェックリストを作成し「はい」「いいえ」で答えられ、誰でも同じ項目を聞くことができるようにしておくことが望ましい。

オープンクエスチョンが基本

⑤相談援助者は自らの態度や言葉遣い、質問の形式などを利用者や家族の反応に合わせて修正していくことが必要である。

13. 次の役割を担う体の器官の名称を①から④に記入しなさい。また、それぞれの器官の役割と構造について、アンダーライン⑦から㉑のうち

間違っているものを3つ選び、線の下に適切な語句を記入しなさい。(配点 1×7) * ひらがなOK

名称	構造と役割
① 腎臓	こぶし大の大きさで胸椎から腰椎にかけて左右に1つずつあり、役割の一つに⑦血液をつくって、血液量や血圧、血液の内容物を同じに保つことがあげられる。尿
② 肝臓	上腹部の右にある最大の臓器で、体内に取り込まれた物質の⑧代謝・貯蔵・解毒を行っている。 機能が低下すると㉑薬の効果が出にくくなる。
③ 大腸	長さが1.5～1.8mあり、栄養吸収が終わった消化物から⑨水分(約1.5L)や塩分などを吸収し、㉒滲出液にして便(排泄物△老廃物×)している。
④ 膵臓	㉓胃の裏側にあり、三大栄養素の消化酵素を分泌する外分泌機能と、㉔脂質の代謝にかかわる㉕インスリン糖(糖質○)などを分泌するランゲルハンス島などの内分泌細胞がある。

14. 特養に入居中のAさん(87歳、女性、要介護4)の仙骨部にステージⅡ程度の褥瘡ができていると連絡がありました。あなたは何が褥瘡の原因になっているのか、アセスメントを行うことになりました。褥瘡発生の原因についてどのような項目を確認しますか。

本人にある原因と環境・介護方法による原因を記入しなさい。また、褥瘡の治癒に向けて行う、ケア内容を記入しなさい。(配点 2×3)

* 原因ととれる文章になっていない場合△(-1点) 例: 栄養状態が悪くなっていないか○ 栄養状態の確認△

①本人に潜む原因

体重が減少していないか / 低栄養になっていないか / 食事量が低下していないか / ADL低下による体動の減少がないか
浮腫がないか / 貧血がないか、



②環境・介護方法に潜む原因

体位交換(除圧)が不十分(行えていない) / 臀部が不衛生な状態になっている(適切な排泄介助が行えていない・失禁しているままになっている)
入浴が行えていない / 食事を適切な形態や介助で提供できていない / 看護師やスタッフ同士が連携不足、褥瘡についての知識がスタッフに不足している *長時間の圧迫 等ぼんやりした内容△ *ベッドマットのかたさ△

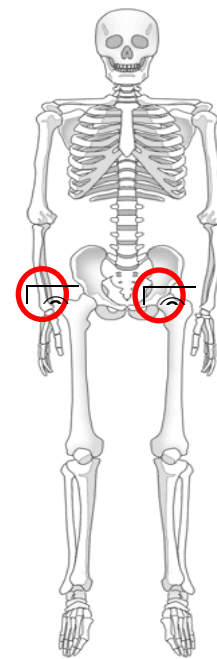
③治療に向けてのケアの内容

体位交換を行う、食事時間を 30 分以内にする / 日中に臥床時間を設ける
ポジショニングを行う(臥床時、座位時)、食事を高カロリー高タンパクのものへ変更する、排泄介助の回数を増やす
*しっかり栄養を摂る○ 清潔保持○ エアマットの導入△ 食事内容見直し△

15. 次の図は高齢者の特徴として起こる体の変化を示した図です。

高齢者に多い骨折部位である大腿骨頸部と橈骨遠位端はどこを指すか。
人体模型に○印を書き込みなさい。(配点 1×2)

* 大腿骨頸部を含んでいれば大きめの○でもOK



16. あなたは口腔ケアの研修を行うことになりました。以下の問いに答えなさい。(6)

I. 研修内容の構成は下記の通りです。空欄に「口腔ケアの効果」として伝えるポイントを記入しなさい。(配点 2)

時間配分	内容	詳細
10 分	口腔ケアの効果について	・う歯、歯周病、口臭を予防する ・
10 分	口腔ケアの方法	・歯ブラシによるブラッシング ・歯間ブラシ、デンタルフロスの使用方法 ・スポンジブラシの使用方法
5 分	義歯の手入れ	・取り外しの方法 ・歯ブラシを使用し、流水で洗う
5 分	質疑応答	

(口腔ケアの効果)

味覚や発音構音を正常に保つ ・唾液分泌を促す ・口腔機能の維持向上 ・誤嚥性肺炎の予防 ・生活リズムを整える

* 口腔内の機能をアセスメントできる○ 食欲の維持向上○ リフレッシュ、気分転換△ 口腔内の残渣物の有無確認×

II. 質疑応答の際に、質問がありました。下記質問にそれぞれ答えなさい。(配点 2×2)

①「胃瘻やターミナル期で食事をとっていない人は、口腔ケアをする必要は無いですか？」

食事をしていない状態であったとしても口腔ケアは必要です。唾液や、咀嚼による自浄作用が望めないため、積極的な口腔清掃が必要です。
口腔ケアには口の乾燥を予防し雑菌の繁殖を防ぐ役割もあります。

* 食事を摂っていない人のためになぜ必要かが記入されていないと△ * 残歯のケア○

②「毎食後の口腔ケアが難しい場合はどうすればよいですか？」

一日に 1 回しかできない場合には夕食後に行います。睡眠中の食物残渣による誤嚥を予防する必要があるからです。

* すべて毎回の口腔ケアが難しいと考えた答えOK、ただし具体的な対策の記載があつて○、なければ△ * うがい、お茶飲むのみは△